

市辺天満宮の秋祭り～2025～

中束 育代

当会ニュース（和詞羅河）の先月、9月号（第293号 09.19）にて「市辺天満宮 お稻荷さんの柵修復」を紹介したのだが、引き続き秋祭りにお邪魔して來たので報告しておこう。

10月12日（日）この日は城陽市域の殆どの小学校にて区民運動会が行われた。曇りのち昼前から小雨が降ったり止んだりの生憎の空模様。朝9時からの秋季大祭にどうしても行ってみたかったのだ。天満宮前の通りにはご神灯が立ち並び、黄金色の稻穂と淡いピンクのサクラタデの花が揺れていた。鳥居をくぐり階段をのぼると、拝殿前には大きなご神灯。左右に並ぶ灯籠にも灯りが（安全上電気のようだったが）。大体の役員さんも集まっておられ、不躾ながら取材をお願いした。

定刻に式が始まると、割り拝殿向かって右側に参列の方々が控え、境内にはお神輿に子供達が集まって来ている。宮司さんと氏子総代長さんが式を進める形で滞りなく終了（大祭などでは複数の神職さんがいる事が多いのだが、宮司さんもいなくて氏子総代さんが？執り行っていた所も見た事がある）。お神輿をお祓いして10時から巡行だ。

小振りだが立派なお神輿はどう見ても子供が担げる大きさではなく、他の所でも見かける飾り



用のものかと思っていたが、台車に車輪が付いていてほっとする。今は水度神社でも巡行自体は台車に乗っている。旗や太鼓を鳴らす子供を先頭に、集落を南へ進み公民館近くで西へ。旧街道？を渡り、暫く西へ進むと今度は南へ。公園に黄色いすべり台？「バナナ公園」で休憩。先日からすると大分マシになっているとは言え、かなり蒸し暑い。水分補給をして住宅街を西へ。さらに南に折れてから東に進んだと思うのだが、方向音痴の私は迷子になる寸前だ。もう一度街道を渡ると曝書でお世話になってい

る次の休憩所である市辺公民館に着いた。氏子さんにお話しを聞くと、この辺りもサルやシカによる獣害が有るらしい。クマが来るのも時間の問題かも？奈良や木津川市から山伝いに來てもおかしくはないのだから…。

市辺天満宮の秋祭り～2025～／ 2025年秋祭りの様子—全部を回れなくてすいません編—／ 寺田石棺仏・歯痛地蔵文化財指定にかかる要望書を市教委に提出／当帰のにつ帰／会の活動・短信／寄贈図書の紹介／城陽市域を中心とした空襲と防空壕（下）／発掘成果をふりかえって・京都市埋文研／幕末・明治の錦絵 - 旅籠松屋所蔵資料から - 他